



9月9日は「救急の日」です

子どもは大人の私たちの想像を超える行動に出ることがあります。まさか！の事故をなくすためには、事故の事例を知り頭のかたすみにいれておくことが大切です。そういえば・・・あんな事故の例があったな・・・と思いついてください。

- ①0歳9ヶ月：イヤホンの誤飲。嘔吐があり体調不良と思っていたがイヤホンのゴムを持っていることに気が付き受診。イヤホンの金属が食道に引っかかっておりカテーテルを挿入して除去。
- ②1歳：カーテンの留め紐による窒息。母親が数分目を離れた間にカーテンの留め紐が首にかかり締め付けられた状態となった。低酸素状態から痙攣をおこし救急搬送。
- ③3歳：ローラーすべり台による股関節脱臼。
- ④4歳：しつけ箸による事故。しつけ箸を持ったまま回転いすに座りバランスを崩して転落。箸のリングに指がしっかり入っていたまま、あごの中央に箸が刺さり多量に出血。
- ⑤6歳：自転車用ヘルメットによる窒息。ヘルメットをかぶり、うんてい棒の上部にのぼり遊んでいた。足を滑らせてうんてい棒の間に落下した。ヘルメットが棒と棒の間に引っかかりあご紐で宙吊りになった。急性低酸素脳症。

そして・・・子どもに多く命を落としやすい誤飲。0歳から小学生まで多く報告があります。食べ物では丸くツルンとしたもの（ぶどう・ミニトマト・大豆など）、その他おままごと玩具、ミニゼリーのカップ容器、おべんとうに入れるピック、薬類、洗剤類とさまざまです。「これは飲み込めないだろう」と思う大きさの物でも事故は起きています。3歳の子どもが飲み込める大きさが39mm。意外と大きいです。確認してみましょう！

*日本小児科学会 傷害速報のHPも覗いてみてください。



まだまだ続く熱中症予防

8月は暑さ指数が高く、外遊びができなかったりプールも短時間で終わらせたりする日が多かったです。プールの途中で水分補給をしたり、日陰を作って何度も測定したりと工夫した中で安全に活動ができるようにしています。熱中症は7月8月だけではなく9月10月も多く報告されています。運動会の練習も始まりますので水筒を忘れずをお願いします。

朝の登園時に・・・

体調の変化があった場合は必ずお知らせください。未満児さんは訴えることが難しいです。以上児さんは色々教えてくれますがはっきりとは確認できません。朝の一言が大切なヒントになります。忙しい時間帯ですがよろしくおねがいします。



8月は感染症が多く出ました

- ・突発性発疹 1名
- ・手足口病（疑い含む）14名
- ・RSウイルス 2名
- ・ヘルパンギーナ 1名
- ・新型コロナウイルス感染症6名
（全員家庭内にて感染）

職員にも新型コロナウイルス感染症が出たため色々ご協力をいただきありがとうございました。